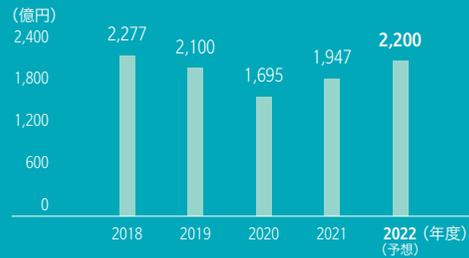


# 各事業の成長戦略



## プロフェッショナル プリント事業

### 売上高



### 営業利益



## 市場環境認識

### 機会

- 商業印刷はマーケティング手法の個別化・短サイクル化、産業印刷は製品サイクルの短期化、印刷会社での熟練工不足や環境への配慮の高まりにより、アナログ印刷からデジタル印刷へのシフトが加速。
- 世界的な人口増加、プライベート/ローカルブランドの増加による、パッケージ/ラベル印刷需要の拡大。

### リスク

- 新型コロナウイルスのまん延、地政学的なリスクや景気変動による印刷需要の低下や設備投資意欲の減退。
- 半導体などの部材逼迫および価格高騰、新型コロナウイルスのまん延によるサプライチェーン全体への影響や物流コストの上昇などによる、売上原価の上昇と顧客への供給量不足。

## 各市場のCAGR(2020—2022年度)

商業印刷	+7%
ラベル印刷	+6%
パッケージ印刷	+15%

※ 当社推定

## 成長戦略

- デジタル印刷の利点を活かし、印刷効果の向上と既存のアナログ印刷中心の印刷サプライチェーンの変革を行うことで、デジタル印刷市場の発展と、廃棄ロスや輸送中のCO<sub>2</sub>削減など環境負荷の低減。
- 先進国の大手印刷会社を中心に、ヘビープロダクション機(HPP)とUVインクジェット印刷機や加飾印刷機などの産業印刷機器を組み合わせ、印刷ワークフローのDXを支援し、お客様の事業および当社の事業を共に拡大(→P26)。
- 従来HPPに搭載していた自動品質最適化機能・自動検品機能(IQ-501)をライトプロダクション機(LPP)とミッドプロダクション機(MPP)に搭載。生産効率向上と省人化を訴求し、先進国の中小印刷会社のトップシェアを維持。また、圧倒的なトップシェアを持つ成長市場(中国・インド)で販売を拡大。
- デジタル印刷が大きく伸長する産業印刷領域では、IQ-501をラベル印刷機用途に対応したIQ-520を高速ラベル印刷機に搭載し、従来の中規模業者から大規模業者に販売を拡大。パッケージ印刷にも対応するUVインクジェット印刷機とデジタル加飾印刷機を組み合わせたトータルソリューションの訴求により販売を拡大。また、テキスタイル印刷機はシングルパス方式を拡販。これらによりノンハード売上を大きく拡大。
- マーケティングサービスは、既存のマーケティングツールの調達支援サービスの自動化強化とデータ分析によるデジタルマーケティングサービスの事業拡大による採算性の改善。

## 戦略的KPI

	2021年度 目標/実績	2022年度 目標
<b>HPP市場シェア</b>		
市場シェア	35%→33%	40%
<b>ノンハード対前年売上高伸長率</b>		
プロダクション プリント	+22% →+12%(実績)	+5%
産業印刷	+24% →+47%(実績)	+28%

## 各事業の成長戦略:プロフェッショナルプリント事業

## Close Up

## デジタル印刷のトップ企業として北米市場でプレゼンスを発揮し続ける

Konica Minolta Business Solutions, U.S.A., Inc.  
Barbara Stainbrook

コニカミノルタ入社以来、32年にわたり、米国のプロダクションプリント事業に従事。現在は、北米地域におけるプロダクションプリント（商業印刷）、産業印刷の販路開拓部門を率いるバイスプレジデントとして、プロフェッショナルプリント事業の成長戦略を推進。



AccurioJet KM-1e

多様な印刷ニーズに応える  
インクジェット印刷機「KM-1シリーズ」

当社は、“必要な時に、必要な量を、必要な所で出力できる”オンデマンド印刷の可能性に早くから着目し、デジタル印刷市場の拡大を牽引してきました。当社が、従来のオフセット（アナログ）印刷機に代わるデジタル印刷機として提案しているのが、

B2サイズを超える枚葉UVインクジェット印刷機「AccurioJet KM-1」です。KM-1は、オフセット印刷に匹敵する高画質を実現するとともに、さまざまな種類・厚さの印刷用紙への対応や自動両面印刷、インラインでの後加工機との接続が可能です。さらに、その後継機である「AccurioJet KM-1e」は、普通紙のみならず、プラスチック基

板、透明フィルム、箔紙、金属媒体、キャンバス、合成基板など、多様な印刷基材にそのまま印刷できることが特徴です。

KM-1シリーズが選ばれる理由は、大きく2点あります。1つ目は、印刷業界における人材不足の解決と生産性の向上です。KM-1シリーズは、操作性に優れるため、専門技術を持たないスタッフでも高品質な印刷物を安定的に作成することができます。2つ目は、環境対応です。一般的にアナログ印刷では、中間材（版や水）や、印刷準備のための用紙が必要となりますが、KM-1シリーズではそれらが不要となるため資源投入量の削減につながります。また、必要な量を必要な場所で印刷できるため、印刷物の輸送量が減り、輸送時に排出されるCO<sub>2</sub>の削減にもつながります。

サステナブルなビジネスが求められる時代において、オフセット印刷機からKM-1シリーズに置き換えるニーズが今後ますます増えていくと見込んでいます。

北米地域の商業印刷・  
産業印刷市場を開拓

私たちの部門では、これまでコニカミノルタがシェアを持っていなかった大型商用印刷機の分野において、北米の大手印刷会社などをターゲットにKM-1シリーズの拡販戦略を進めてきました。具体的には、お客様企業のマーケティングや

新しい印刷物制作のためのコンサルティング活動を行うほか、お客様向けポータルサイトを通じた情報提供、オペレーター向けの研修サービスを提供することで、顧客満足度の向上を図っています。

その結果、KM-1シリーズの導入台数は約2年で10倍となりました。また、導入先の約9割が新規のお客様となっており、これらのお客様の月平均のプリントボリュームは、従来のKM-1のお客様よりも50%以上多くなっています。

加えて、月当たりのプリントボリュームは24カ月間で3倍に増加していることから、お客様の印刷受注増加とデジタル化へのシフトに貢献できていると思います。また、印刷品質や使いやすさにも満足いただけているものと認識しています。

さらに、KM-1シリーズと当社が持つほかのデジタル印刷機——プロダクションプリント機、ラベル印刷機、加飾印刷機などを組み合わせて、印刷会社へのトータルソリューションの提供にも力を入れています。

商業印刷や産業印刷の市場においては、当社にとってまだまだ成長の機会があります。私たちは、北米地域におけるプロフェッショナルプリント事業の営業戦略を担う立場として、コニカミノルタが持つインクジェット印刷・加飾印刷・ラベル印刷分野の世界トップレベルの技術をお客様に提供し、業界大手としてのポジションの維持・向上に貢献していきます。